

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	合唱
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい		
制作団体名	公益社団法人関西二期会		
代表者職・氏名	理事長 斉藤言子		団体ウェブサイトURL
			https://kansai-nikikai.com/
制作団体所在地	〒	540-0026	最寄駅(バス停)
	大阪府大阪市中央区内本町2-3-11-601		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)
制作団体 設立年月	1964年		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長: 斉藤言子 副理事長: 小餅谷哲男・片桐直樹 理事: 大谷圭介・片桐仁美 他13名 監事: 薩摩和男		正会員: 267名／準会員: 195名 賛助会員: 50名／会友: 3名 合計515名 入会試験と活動実績により入会が認められる
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	堀田栄作
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	羽渕祐子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	info@kansai-nikikai.com		0663604649

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	1964年に二期会設立の主旨とその活動に共感を得た京阪神に在住する声楽家達により「二期会関西支部」として発足し1979年に「関西二期会」と名称を改める。 2010年に法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となった。 『フィガロの結婚』など、オペラの演目としてよく知られた作品の上演はもとより、『アルバート・ヘリング』（関西初演）『真夏の夜の夢』（関西初演）『るつぼ』（日本初演）等意欲的な作品を公演し、大阪文化祭賞3回、大阪府民劇場奨励賞3回、音楽クリティッククラブ賞4回、尼崎市民芸術奨励賞、トヨタ音楽賞、三菱信託音楽賞等を受賞。平成26年9月、第79回オペラ公演『魔笛』では第12回佐川吉男音楽賞を受賞している。	
	学校等における公演実績	平成26年度 学校公演19公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成27年10月 大阪府立大手前高等学校学校公演 平成27年度 学校公演18公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年6月 上宮太子中学・高等学校（音楽鑑賞会） 平成29年度 学校公演16公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年10月 西宮市立瓦木中学校（音楽鑑賞会） 平成30年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年度 学校公演8公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年度 学校公演6公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年度 学校公演1公演（文化芸術による子供育成推進事業） 令和4年度 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業） 令和5年度 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業） 令和6年9月 大阪清風学園中学校学校公演（音楽鑑賞会） 令和6年度 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業） 令和7年9月 大阪清風学園中学校学校公演（音楽鑑賞会）	
	特別支援学校等における公演実績	平成14年2月 滋賀県立八幡養護学校（芸術文化ふれあい教室） 平成19年11月 富山県高岡市立こまどり養護学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成20年10月 門司市立特別支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成21年10月 大阪府立視覚支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成23年10月 兵庫県立芦屋特別支援学校（次代を担う子どもの文化芸術体験事業） 平成27年10月 長崎県立鶴南特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年11月 富山県立しらとり支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成30年10月 北海道紋別養護学校（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年7月 沖縄県立森川特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年9月 長崎県立川棚特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年2月 大阪府立泉南支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和6年9月 三重県立稲葉特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業）	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料		
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	関西二期会合唱公演			
企画のねらい	<p>「演奏を目の前で聴くこと」や「実際に自分で歌ってみる」体験を通じて、歌唱における表現力を養うと同時に幅広い合唱の魅力を感じてもらう事が最大のねらいです。</p> <p>ワークショップでは、普段はソリスト(独唱者)として活躍する歌手が“体育館”という身近な場所で歌を歌うことで、体育館に響き渡る「人の声」を体感していただきます。そして、どのような練習をして声の“響”を出しているかを紹介したり、簡単な歌唱指導を受ける中で、児童・生徒に「オペラ歌手」を身近に感じて歌声を育む楽しさや魅力、難しさというのを知っていただきたいと思っております。また、本公演で共演する曲の指導を実際に受けることで、児童・生徒の参加意識を高めるとともに、今後の音楽活動にいかせるように工夫しております。</p> <p>本公演では、普段は関西圏を中心にソリストとして活躍する24名の歌手による合唱演奏で圧倒的な迫力の歌声や息使い、繊細なハーモニーを体験していただきます。またプログラムの後半では児童生徒にとって身近な校歌を混声四部合唱編曲版で聞いていただくことで、親しんでいる楽曲が編曲により全く異なる印象になることを体験し、歌への興味を育みます。また、ワークショップで取り組んだ共演曲や校歌と一緒に歌うことにより、他者とともに物事に取り組む一体感や達成感を体験していただきたいと思っています。次世代を担う子どもたちが芸術と文化を通じて成長し、広い視野を持った感性豊かな人材へと成長することを願っています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】</p> <p>第一部は、イタリア民謡、日本の四季を感じる曲のメドレー、スキヤットの楽曲、ア・カペラ男声・女声合唱など合唱の様々なヴァリエーションを感じられる選曲から、子どもたちを元気づける曲や 生きる事の素晴らしさを感じてもらえるメッセージ性のある楽曲の構成へとプログラムは移ります。休憩を挟んだのち第二部では、関西二期会の主たる活動であるオペラの中から、モーツァルト作曲の『魔笛』、ビゼー作曲『カルメン』、ヴェルディ作曲『椿姫』のそれぞれの名場面をお送りします。プログラムの終盤には、各学校で開催するワークショップで取り組んでいた楽曲と校歌と一緒に歌います。</p> <p>【演目選択理由】</p> <p>●「フコクリ・フニコラ」</p> <p>「鬼のパンツ」の替え歌として親しまれ有名であることに加えて、リズムカルで華やかな曲想が児童・生徒にとってコンサートの期待感を高める効果を持つと考え採用しています。</p> <p>●「四季を彩る日本の歌」</p> <p>唱歌は日本の文化財産として後世に受け継ぎたいものの一つであると認識していますが、一方で時代は進み、作曲された当時とは楽曲スタイルが大きく変化したことから、現代の子どもたちに曲の魅力を十分に伝える以下の手法での披露を考えています。</p> <p>①パート割り振りにより声の変化を持たせること②サンバヴァージョンへのアレンジ③巧みにソロを交え変化を持すこと④自然の情景を声で表現するなどの演出を加え、日本の素晴らしい四季を感じられる様なメドレーにしています。</p> <p>●「トランペット吹きの休日」は」</p> <p>声を楽器として扱うスキヤットは、歌詞を伴わず楽曲の全てを表現する声の可能性を感じることができ、高い歌唱技術が必要で単純に歌う事の「凄さ」を感じられます。</p> <p>●「斎太郎節」「ずいずいずっころばし」</p> <p>いずれも民謡童謡で、子どもたちの感性に直接訴えかけられる楽曲であると同時に、ピアノ伴奏のない声だけの魅力を感じられます。</p> <p>「斎太郎節」は男声のみ、「ずいずいずっころばし」は女声のみのそれぞれ単声の澄んだハーモニーを堪能してもらいたいと考えています。</p> <p>●「勇気100%」・アンジェラ・アキ「手紙」・竹内まりあ「いのちの歌」</p> <p>合唱ならではの重厚さ・力強さを通じ、曲が持つメッセージを感じ、命の大切さや生きる勇気など「命」「絆」「愛」という普遍的なテーマと一緒に考える機会を持つことで、豊かな人間性を育てていただきたいと考えています。アンジェラ・アキ「手紙」は思春期の小中生の誰もが遭遇するであろう悩みを的確に表現している楽曲で、共感性が高いと判断して今年度の新曲として採用しました。</p> <p>●天使にラブソングより「Joyful joyful」</p> <p>プログラム第一部の最後に手拍子などの参加型で盛り上がりたいたいと考えています。</p> <p>●「オペラってなあに？」</p> <p>第二部からは時代を超えて世界中で愛される名曲に演出を施し、本物のオペラに近い舞台をお楽しみいただけるようにしています。</p> <p>●各校共演曲</p> <p>共演曲の模範演奏を通して、子どもたちに演奏歌手と自身の歌声の違いを感じてもらい、発声や姿勢などによって、より良い歌い方を考えるきっかけにします。</p> <p>●混声四部合唱版「校歌」</p> <p>プログラムの最後は毎年大好評をいただいている各校の校歌を演奏します。子どもたちにとって日頃は単旋律で歌っている校歌が、編曲されてハーモニーを伴い美しくダイナミックに生まれ変わる驚きを感じていただきます。</p> <p>●全ての山に登れ</p> <p>今回の本公演を通じて「関西二期会合唱団」が児童・生徒の皆さんの今後の挑戦も応援している気持ちを表現したいと思っています。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>ワークショップでは、実際にプロの声楽家が見本を見せながら、声を楽しくよりスムーズに出すための「体操・呼吸・発声」トレーニングを導入として、楽曲指導に至るまで全校児童を対象に行います。また演奏を「聴く態度」も重要であると考え、ワークショップ後半にミニコンサートを行い、児童生徒にはしっかりと演奏を聴いてもらう時間も設けています。質問コーナーでは子どもたちの発言の機会も設けます。</p> <p>本公演では、基本的に演奏会を全校児童生徒で聴いてもらう形となります。ただし、一方的に上演するのではなく、手拍子や掛け声など可能な限り「参加型」を促して進めています。各学校で設定された共演曲ではメンバーが子どもたちの傍に移動し、合同演奏を行います。</p>			

児童・生徒の 参加可能人数	本公演			参加・体験人数目安	全校児童・生徒対象
				鑑賞人数目安	全校児童・生徒対象
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【第一部】 ●オープニング イタリア民謡「フニクリ・フニクラ」 ●四季を彩る日本の歌 花〜われは海の子(サンバVer.)〜村祭り〜雪〜ふるさと ●声が大変身！ アンダーソン作曲「トランペット吹きの日」 ●声を聴き比べてみよう 男声合唱「斎太郎節」宮城県民謡 女声合唱「ずいずいずっころばし」童謡・信長貴富編曲 ●みんながんばれ！【小学校】勇気100%【中学校】アンジェラ・アキ「手紙」 【小・中共通】いのちの歌 竹内まりあ・Joyful joyful(天使にラブソングを) 《休憩 10 分》 【第二部】 ●楽しい二重唱 オペラ『魔笛』よりパパパの二重唱 ●オペラってなあに？ カルメン第四幕より 群衆の場面 / カルメンより「ハバネラ」(作曲:G.ビゼー) / カルメンより「闘牛士の歌」 / 椿姫より「乾杯の歌」(作曲:ヴェルディ) ●みんなで歌いましょうワークショップの成果発表:共演曲の演奏 (児童・生徒たちの演奏→関西二期会だけの演奏→共演) ●校歌 全員で校歌斉唱〜関西二期会編曲版 混声四部合唱で〜指揮者ワンポイントアドバイス ●アンコール 全ての山に登れ				
	公演時間	100	分		
出演者	指揮:鈴木恵里奈 ピアノ:今岡淑子 《合唱団》 ソプラノ:金岡怜奈、武久優子、四方典子、三村浩美、野々村瞳、松浦優 アルト :岸畑真由子、瀬戸口文乃、安本佳苗、名島嘉津栄、影原真由美、阪上真知子 テノール:島袋羊太、諏訪部匡、秋本靖仁、中島康博、大上晃司、西口浩二 バリトン:大谷圭介、谷本尚隆、神田行雄、山崎享、服部英生、武久竜也 (以上予定の為、同等の音楽家と変更することがあります。)				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	鈴木恵里奈(指揮):日生劇場、新国立劇場などで音楽スタッフを務め、2019年藤原歌劇団《蝶々夫人》で本格的にオペラ指揮者としてデビュー。以後、新国立劇場オペラ研修所《イオランタ》、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》ほか、この2年間で5作品7プロダクションと続けざまにオペラの指揮台に立ち、着実にキャリアを積み重ねる。令和5年度浜松市教育文化奨励賞受賞。 大谷圭介.(総合プロデュース):関西二期会プロダクションを中心に数々のオペラに主演。受賞多数。特に、2022年シーズンでは『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『リゴレット』と立て続けにタイトルロールの公演を成功させたことは記憶に新しい。2017年12月、2018年1月、2月に、イタリアのリヴォルノ、ピサ、ルッカの各歌劇場にてマスカーニ作曲オペラ『イリス』に出演。的確なディクションと演唱で常に観客を魅了している。				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	26	名	運搬	積載量: t
	スタッフ:	2	名		車 長: m
	合 計:	28	名		台 数: 台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	10時00分	10時30分～12時00分 (リハーサル)		13時20分～15時	10分	15時～15時15分	15時20分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</small>	6月		7月		8月		9月	
	22日		21日		21日		19日	
	10月		11月		12月		1月	
	21日		14日		19日		19日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		156日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡</small>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">令和7年度の舞台イメージ</div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>							
	著作権、上演権等の許諾状況		各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名	
			該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

ワークショップのねらい

ワークショップの最大のねらいは、合唱演奏における「発声のポイント」「演奏のポイント」を学び、考え、体得することを通じて、歌う事や合唱で声を合わせる楽しさや喜びを感じてもらい、その結果、合唱本公演への興味・関心を高めることにあります。

現役で活動する音楽家から声を出す方法や、本公演での共演曲の歌唱方法を学ぶことで、児童・生徒の参加意識を高め、今後の音楽活動へ生かせるよう工夫しております。歌うことを考えることで、本公演の合唱公演もより楽しく、より深い理解を以て聴いていただけるものと考えております。

ワークショップでの演奏の主な形態は、普段はソリスト(独唱者)として活動している歌手たちが子どもたちの目の前に立ち、体育館でマイクなしの歌声が響き渡るリアルな演奏を実際に聴いてもらい、鍛え上げられた声の魅力を子どもたちの心に届くように演出をしております。

また、全編を通じて一方向の指導にならないよう、質問コーナーを設けることや、都度問いかけを行うなど、双方向でのやり取りが出来るようにすることで、自主的な参加を促し、理解の深化に繋がるように工夫しています。とりわけ声については、声帯が喉の中に位置している関係で参加者の“意識”や“やる気”といったモチベーションの高さで学び得る内容量や質が大きく変わると考えております。

指導では、声量や声色、声の響きを出すための練習方法などは具体的に紹介し、“歌声”を育てるのは決して難しいことではなく、簡単な訓練の積み重ねで誰でも可能になるということを経験・生徒たちの発見・気づきとすることにより、誰もが持ちうる声という楽器の魅力や尊さを感じられるようになります。加えて、練習する中で上達する喜びも感じてもらえるようになると考えており、またそのことが前向きに人生を歩める強く豊かな心を持った子どもたちを育てること信じております。

そして、共演曲を題材にして「曲の内容や構成を考えること」と、合唱の醍醐味である声を合わせることによる「響の喜び」も感じていただきたいと思っています。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

200名程度

ワークショップの内容

ワークショップ実施形態及び内容

【小学校】

オープニングは、児童に馴染みのある曲として「さんぽ」を選曲。歌手四名でピアノ伴奏により合唱。

【中学校】

オープニングは、生徒に声部の掛け合いが分かる曲として「花」を選曲。

以降【小・中共通】

メンバー紹介は、ソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれの声域で挨拶をし、各声部の魅力を感じていただけるようにする。

歌の大切な共演者としてピアニストの紹介も行う。

続いて、児童生徒による各学校の共演曲演奏を行う(共演曲は予め各学校と相談の上、曲目を決定する)。

その後、メンバーによる共演曲演奏を行う。

演奏後すぐに、小さな質問コーナーを設けて子どもたちの演奏とメンバーの演奏の「何が異なるのか？」などを一緒に考え、

声や演奏の課題を明確にした上で、歌うための体の使い方や息の使い方、発声練習、共演曲の歌唱ポイントなどを順に学ぶ。

歌唱指導の後、簡単な指揮法の指導も行う。

指導における留意点としては、体の使い方と息の使い方では、体を支えるために必要な下半身の強化やイメージトレーニングなど、

歌には関係がないように思える事柄にも着目し、歌う事が全能力(身体的・精神的)活動であることを伝える。

発声練習では、平易なメロディを用いながら声の響きの違いに着目することで、合唱に最適な声の響きを学習する。

息の使い方や発声練習はワークショップ後も継続的にトレーニングを続けてほしい旨をお伝えし、効果的なトレーニング方法も数例提示しておく。

歌唱指導では、各学校ごとの課題曲に応じて音楽的な観点から「より良い演奏を目指して」と題し、

演奏のポイントを演奏しながら分かりやすくお伝えする。

指揮法については、簡単な四拍子・三拍子の基本図形を伝えた上で、音楽表現において重要な強弱の示し方や、

「開始」や「終止」の方法をレベルに応じ提示する。

小学校プログラムでは、ここでミニコンサートを行う(中学校プログラムでは、冒頭の声紹介時のソロ演奏が、このコーナーの代わりとなる)。

最後に、小学校・中学校ともに質問コーナーを設けて児童・生徒の様々な疑問に対して回答する。

現在、現役で活動する音楽家が質問に具体的に答えることで、児童・生徒がこれからの音楽活動に取り組むヒントになることを願う。

※小学校、中学校それぞれでより効果的になるように、お伝えする内容や順番に変化を持たせている。

その他ワークショップに
関する特記事項等

ワークショップの大きな流れは上記のとおりですが、ご相談の上、各学校に合わせた形態で実施いたします。

特別支援学校での公演については、事前に各特別支援学校の先生と電話やメールにて綿密に打ち合わせを行い、生徒・児童と一緒に参加できる箇所を設け、なおかつ各学校のそれぞれの実情に対応可能なプログラムで行う予定です。

また、公演時間の短縮、曲目の変更等も、生徒・児童の状況に合わせて個別に調整を行うことが出来ます。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		0 A以上
舞台設置面積	間口	10 m		奥行	5 m	
	高さ	5 m				
舞台設置場所	フロア対応	条件なし		学校のステージでの対応		条件なし
搬入間口の広さ	幅	0 m		高さ	0 m	
遮光の要否	不要		緞帳の要否			不要
ピアノの使用について	必ず使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			あり
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			条件なし
搬入車両(トラック等)の横づけ	横づけ要件なし		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			0 m以内
搬入車両の種類	条件なし		台数	0 台		
搬入車両の大きさ	車幅	0 m		車長	0 m	
備考	合唱公演で出演者は各自の荷物を持参するのみですので搬入車等は必要ありません。ですので車両関係の数値は全て0として記載いたしました。搬入間口等も同様です。電源圧もMC用マイクのみ使用で特に電気を使用しないため0と記入致しております。					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	特になし	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

会場簡易図面

舞台袖

体育館の舞台

舞台袖

設置舞台

パネル

スペースの確保が必要

設置舞台

スペースの
確保が必要

体育館
フロア

鑑賞位置

鑑賞位置

問曰

後方

トラック

前方

フロア使用時

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

人と人との直接的交流がパンデミックの前の様に戻るわけではなく、テクノロジーの進化もあいまって他者と同じ空気を共有する機会、人間にとって大切な「共感力」を育む場が減少の一途をたどっています。教育現場において合唱公演を行うことは、音楽を通して人と人との繋がりを再確認し、豊かな感性を育む機会となるものと考えます。

「歌」は、作曲家や作詞家や歌手の意図や思いを聴く者に運び、様々な感情を湧き起こす絶好のツールであり、SNSなどインターネットを介した関わりでは作り出せない「直接的なふれあい」や「交流の場」を作ることができます。そのような心と心の交流の場を子どもたちと共有することを願い、「令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」に申請致しました。

本事業における合唱公演では、大人たちが真剣に合唱に取り組む姿を子どもたちに提示することで、まさにその生の“音”や“声”の迫力を体感していただきたいと考えています。マイクを通さない磨き鍛え抜かれた歌声、重なり合うハーモニーが織りなす『生きた芸術』は、大人にも子どもにも優しい気持ちや勇気を与える力があると信じています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

合唱公演をより効果的に楽しんでいただくために、実際に児童・生徒が授業で取り組んでいるまたは取り組む予定の合唱曲や興味のある曲を伺いながら共演曲を決めていきます。学校にもご協力いただいて公演までに選択した曲目を授業等で練習していただき、ワークショップを通して「歌う」ことや「楽曲そのものに対する興味」を深めていただきます。

本公演では出演者が司会進行も務め、子供たちにも分かりやすいよう演奏曲の解説をしながらプログラムを進めていきます。オペラの歌の内容やストーリーを理解しながら鑑賞していただくためにも、原語(フランス語など)で歌われるところを日本語で歌うなどの工夫も致します。一方で、椿姫の「乾杯の歌」は本格的な楽曲の魅力を伝えるために敢えて原語(イタリア語)歌唱を採用いたします。また、指揮者による各学校の校歌のワンポイントアドバイスは毎回好評を得ております。子ども達が歌唱する機会の多い校歌をより楽しく歌唱し、愛された校歌として心に残るようにアドバイスをしています。

【学校との連絡調整について】

実施する学校の担当の先生に資料をお送りし、ワークショップと本公演の両方の大まかな流れや各公演で準備いただきたいものなどを事前にお知らせ致します。その後、各公演の実施前までに、タイムスケジュールなど詳細な調整を重ねていき、不明な点など含め電話・メールでの連絡によって綿密に打ち合わせをして参ります。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

プログラムには、子どもたちに耳馴染みのある合唱曲やオペラの名曲を取り入れながらも、アンジェラ・アキさんの「手紙」や「いのちの歌」などの「命」「絆」「愛」という普遍的なテーマを子どもたちと一緒に考えたいとも思っています。生きる勇気が湧いてくる合唱曲、声の重なりが生み出す一体感が伝わるようなア・カペラの曲目、国境や時代を越えて愛される情熱的なオペラ曲を盛り込み、また児童・生徒にとって一番親しみのある「校歌」を混声四部合唱に編曲し演奏するなど、子どもたちが音楽に親しみをもち、魅力を存分に感じられるような公演になるよう、工夫しながら取り組むことを心掛けています。校歌につきましては公演中に指揮者のワンポイントアドバイスをを行い、馴染みのある校歌を音楽的にも深みを持たせて、今後の学校生活において校歌を歌う際に生かしていただくというのがねらいです。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

特にワークショップでの指導において、声を適切に出すためには継続的なトレーニングが不可欠であるという事を指摘し理解を促しています。本公演においても、人生の困難な状況においても歌う事が前に進める原動力になることがあるとのメッセージを込めてMCを工夫しております。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫